令和6年度事業計画書

四天王寺さんめい苑

令和4年度よりさんめい苑のこれまでの経緯を見つめ直し、現状との比較、そこから今あるべき姿を模索してきた結果、変わりゆく制度に基づき、今、そして将来に向けてのご利用者ニーズの模索を継続しながら、様々な活動や支援を提供します。

また、地域のあらゆる資源を活用し、ご利用者が社会との接点を見いだし、その地域で安心して暮らせるよう、地域共生社会の実現をめざします。

～具体的な事業活動～

(1)サービス

・慣れや経験からの憶測に頼らず、あらゆる観点からご利用者本人の意思を探るための挑戦を実践します。

・ご家族や関係者との関わりを深め、ご利用者自身が主人公となる個別支援計画につなげます。

(2)地域貢献

・近隣との交流を積極的に行い、この立地にある福祉施設が地域に貢献できる機会を模索します。

(3)施設の機能整備

・経年劣化もある施設を今の機能を損なうことのないよう整備します。

・施設環境がより効果的に機能できる改革をICT等の導入も検討し、環境とその機能を高めます。

(4)人財育成

・一人一人の得手不得手も踏まえ、仕事の楽しさややりがいを実感し、今、自分に何ができるかを考え、実行に移すことができる人財を育成します。

～改善活動～

(1) 安全への取組・環境改善

・施設内における事故防止・環境改善・感染症予防対策等の取組みを継続し、安全にサービス提供できることを第一とします。またご利用者にとっても、スタッフにとっても心地よい環境に改善し、一方的な力による関りを無くすよう取り組みます。

(2) BCPからBCMへ

・BCPを活用し、災害時における安全確保や適切な避難方法を検討し、地域の方々と共に備えることで、地域全体の防災力向上にも貢献します。